

2020年4月3日

保護者の皆様

グリーン・ヒルズ小/中学校長
清水 岩夫

2020年度の学校再開について ～新型コロナウイルス感染症への対応～

4月に入っても新型コロナウイルスへの感染が拡大しており、保護者の皆様には様々なご心配を頂いていることと思います。新年度の学校再開にあたり、グリーン・ヒルズでは以下のような点に配慮して対応してまいります。あくまでも、現時点での内容であり、今後の状況変化により変更する場合がありますので、ご了承ください。保護者の皆様には、何卒ご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

【いづな学園の方針】

1. 授業・保育の再開について

年度当初から通常の保育及び授業を再開する

ただし、再開にあたっては、文部科学省の「学校再開ガイドライン」を参考に感染拡大防止に努める。

2. 長野市内での感染者数が急増した場合

グリーン・ヒルズ小学校、中学校は分散登校または休業とする。こどもの森幼稚園は自由登園または休業とする。

3. 学園内(教職員、在校生・在園生)において、感染者が出た場合

保健所の指導に従い、学園内休業とする。休業の期間は、別途保健所と相談の上判断する。

4. 家庭内に感染者が出た場合

市内に感染者が急増した場合に準じ、休業の範囲を判断する。

感染症対策のポイント

「感染源を絶つこと」

「感染経路を絶つこと」

「抵抗力を高めること」

【グリーン・ヒルズの対応】

1. 登下校について

- ① 通学に公共交通機関を利用しなければならない場合は、車内及び駅待合室等での感染のリスクを避けるため、**登校の自粛をお願いいたします。**スクールバス利用者、保護者の方による送迎を頂ける場合は自粛していただく必要はありません。
- ② 登校自粛の期間は、当面、5月の連休明けを一つの目途としていますが、状況を判断してまいります。
- ③ 登校自粛期間中は、**出席扱いとなります。自粛期間中の学習については、個別に対応しながら、学校としてできる限りの配慮をしております。**

同封のカードに記入し4月7日から持たせてください

2. 学校生活について

- ① 登校する場合には、学校内での感染防止、自分の体を守ることを観点から、次のようにいたします。
 - ・登校前に**毎日検温し、健康チェックカードに記入頂き、登校時に持参させてください。**
 - ・発熱や風邪のような症状がある場合は、登校を見合わせてください。
 - ・登校時や昼食時、トイレ使用後などの手洗い指導を徹底していきます。**毎日ハンカチを持たせてください。**

- ・原則**すべての授業でマスクの着用**をお願いします。

※ 手作りマスクの作り方 http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyusyuen/mext_html

- ・授業中は、30分～45分毎に換気をします。
- ・校外学習については、不特定多数の方とかかわらないことを前提に実施します。
- ・その他の行事についても、実施の可否、内容を丁寧に判断し、その都度お知らせします。
- ・入学を祝う会については、別紙をご参照下さい。
- ・「この時期だからこそでできるプロジェクト」に積極的にチャレンジしてまいります。

3. スクールバスの運行について

バスの中では、「密閉」「密集」「密接」による感染リスクを避けるため、次のような対応を行います。

- ・乗車時は、**マスクの着用**をお願いします。
- ・間隔をあけて乗車できるよう座席の配慮をします。
- ・乗車中はバスの窓を**2か所以上、5cm程度開ける**ようにします。また、学校駐車時は、なるべく窓を開けておくようにします。
- ・送迎終了後、**バス車内を次亜塩酸水または、次亜塩素酸ナトリウムで消毒**します。

なお、学校までの**送迎が可能なお家庭がありましたら、ご協力をお願いいたします**。その場合は、施設利用料(通学バス費用)はかかりません。

4. 学校生活中の発症時への対応(発熱、風邪様の症状が見られた場合)

活動中も、教員が健康観察を丁寧にいき、万一上記の症状がみられる場合は速やかに、別室で休養するようにし、保護者に連絡をいたしますので、お迎えをお願いいたします。また、**確実に連絡が取れるようお願いいたします**。

<資料> 長野県教育委員会の資料より抜粋

1、保健管理について

①基本的な感染症対策

- 1) 感染源をたつ … 健康チェック
- 2) 感染経路をたつ … 手洗いの徹底。マスクの着用。
- 3) 抵抗力を高める … 十分な睡眠、適度な運動、バランスの良い食事

②集団感染リスクの軽減

これまで集団感染が確認された場に共通するのは、「**換気の悪い密閉空間**」「**多くの人が密集**」「**近距離での会話や発声**」の3条件が重なった場とされています。

この条件が重ならないように、

- 1) 換気の悪い密閉空間にならない様、換気を徹底する。
- 2) 多くの人が手の届く距離に集まらないの配慮をする。
- 3) 至近距離での会話や大声での発生をできるだけ控える。

